

第3回半田市議会定例会文教厚生委員会委員長報告書

当文教厚生委員会に付託された案件については、6月17日、午後2時15分から、全員協議会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

初めに、議案第36号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

高齢者個別訪問事業について、介護予防の必要な方、3000人が対象とのことだが、介護予防が必要な方とは、どのような方々か。とに対し、

65歳以上で介護認定を受けていない方を対象とした生活機能評価の結果を受けて、医療機関で介護予防を受けた方がよいと判定された、2次予防対象者が約1000人、生活機能の低下がみられるにもかかわらず医療機関を受診していない方が約2000人です。とのこと。

同じく、高齢者個別訪問事業における雇用にあたって、その条件はどのようになっているか。とに対し、

年齢制限は特にありませんが、高齢者の健康状態等を判断する必要があるため、ホームヘルパー2級程度の知識や老人介護施設での就労経験の有無などを聞きとり、採用を決定します。とのこと。

児童虐待防止対策緊急強化事業について、広報啓発事業および人材育成事業の謝金の内容は。とに対し、

広報啓発事業については、講演会講師、子育て相談員、講演会や研修会を実施する際の託児、読み聞かせ会の実施、人形劇講演料など、講演会や研修会を実施するためのものです。また、人材育成事業については、研修会講師、フォローアップ研修講師、講座運営協力者、人材養成のためのプログラム講師、人材育成協力者などの謝金です。とのこと。

大腸がん検診が国の補助事業に追加された経緯は。とに対し、

40歳代後半からの罹患者数、死亡者数が増加しているにも関わらず、受診率が低いことから、受診行動を促す効果を狙ったものです。とのこと。

理科支援員等配置事業に関しては、半田小学校と宮池小学校が、夢をはぐくむあいち・モノづくり体験事業に関しては、花園小学校が選ばれた理由は何か。とに対し、

各学校の希望を募り、希望のあった学校の中から選んだものです。理科支援員等配置事業については、平成19年度から実施している事業であり、過去に実施していない学校を選びました。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第38号については、補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。